

大崎市子どもの心のケアハウスだより

《4月号》

大崎市教育委員会

令和4年度がスタート!

暖かい日差しを受けて、木々や草花の芽吹きも鮮やかに目に映り、山々が萌黄色に染まる清々しい季節となりました。入学・進級という大きな節目を迎え、子どもたちは不安と期待を抱えながら、新たな気持ちで学校生活をスタートさせていると思います。



子どもたちにとって、『変化』は『成長』のチャンス。環境が変わることは、可能性や能力を引き出すきっかけに出会えるチャンスです。子どもたちが、苦手だから…、面倒だから…、やったことがないから…と臆病にならず、失敗を恐れずにいろいろなことにチャレンジできるよう、周りの大人が温かく支えていきたいものです。

～「失敗」と書いて「成長（せいちょう）」と読む～

元東北楽天イーグルス監督の故野村克也さんの言葉です。ご自身も選手時代は名捕手として活躍し、監督としても優勝請負人と言われるほどの一流の監督でした。語録の中には奥深い言葉がたくさんあり、その中の一つが冒頭の『「失敗」と書いて「せいちょう（成長）」と読む』です。

失敗は、挑戦の結果であり、最高の成長のチャンスです。大人はつい「そんなことをすると失敗するよ」とアドバイスしがちですし、自分で決めさせるべきことに過干渉になることも多くみられ、子どもを想っての行動が、結果的には成長のチャンスを奪ってしまいます。

子どもたちの勇気あるチャレンジが大きな成長につながっていることを心に留めたいものです。

一方で、環境の変化は誰にとっても、ある程度の不安や緊張を伴うものであることも確かです。新学期や入学シーズンは環境の変化にうまく対応できず、心や体に不調を抱えてしまう子どもが出てきがちです。子どもたち自身には苦しさを一人で抱え込まず、信頼できる人・共感してもらえる人に話すことを、ご家族や学校の先生方には、子どもの表情や行動・感情などの変化をよく見ておくことに気を付けていただきたいと思います。

「ただ前へ」

転んだ後に見上げた空

にじんで見えない自分の未来

泣けるほど胸が痛むのは

それだけ君が願ってるから

そっとめくる一頁

もう一度そこからスタート

立ち止まることは弱さじゃない

ただ前へ ただ前へ 僕ら歩いてゆこう

正解（た）えのない問いかけが

君を遮るだろう

でもいつだって運命は変えてゆけるはずさ

ヨロコビもカナシミも

やがて花となるでしょう

目の前を塞いでいるのは

壁じゃなくて扉なんだ

おそれないで 焦らないで

君だけの明日を その手で掴むのさ

ただ前へ ただ前へ 僕ら歩いてゆこう

問題は山積みさ 悩みも消えないだろう

でもあと一歩 あと一歩 進む道の先で

ヨロコビもカナシミも

やがて花となるでしょう

Hey! Say! JUMP 「ただ前へ」より一部抜粋

『子どもの心のケアハウス』って、どんなところ？

「大崎市子どもの心のケアハウス」は、お子さんが安心して学校生活を送り、将来の社会的自立を目指せるように、お子さんや保護者の皆様、学校の先生方をサポートする活動をしています。

子どもたちは新年度を迎え、「新しい学級になじめるだろうか」「新しい友だちができるだろうか」「級友とうまく関係を築くことができるだろうか」など、新たな学校生活への期待とともに不安や戸惑いを抱えているのではないのでしょうか。

大崎市子どもの心のケアハウスでは、学校生活を送る上での悩みや不安を抱えているお子さんや保護者の皆様の気持ちを大切に、気持ちを和らげるようなお手伝いができたらと考えています。

♣♣♣ どのような活動をしているの？ ♣♣♣

「大崎市子どもの心のケアハウス」は以下のような活動をしています。

- お子さんの学校生活上での悩みや心のケア等についての相談窓口になります。
- 別室に登校して学習しているお子さんに対して、学校からの要請に基づいて学習サポートを行います。
- 相談の内容に応じて、大崎けやき教室やフリースクール、北部教育事務所の訪問指導員等、様々な関係機関とのパイプ役を務めます。
- 市内の小・中学校を訪問し、お子さんの充実した学校生活に向けて先生方と一緒に考え、話し合ったりします。また、先生方の相談にも電話や学校、ケアハウス内で応じます。

♡♡♡ 相談したいときはどうすればいいの？ ♡♡♡

- 相談は「電話相談」と直接お会いしてお話をうかがう「面談」があります。面談は予約制になりますので、面談を希望する場合は、下記の電話（どちらでも可）にご連絡ください。日程を調整いたします。
※ 面談や学校訪問等で電話に出られない場合があります。ご了承ください。
- 時間は、月曜日から金曜日（祝祭日は除く）までの9：00～17：00です。
- 面談の場所は、「ケアハウス（旧中央公民館内）」「家庭」「学校」「支所等の公的施設」のいずれかになります。

《お問い合わせ先》

住 所：大崎市古川北町5丁目5-2 （旧大崎市中央公民館）

電 話：080-6058-1894（野村）、080-6058-1926（菅原）

スタッフ：スーパーバイザー 野村 清正、菅原ひろみ（教職経験者）

スクールソーシャルワーカー 庄子 泰央（精神保健福祉士・社会福祉士）

開所日時：月～金曜日（祝祭日は除く） 9：00～17：00

お気軽にお問い合わせください。